

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		OHANAサポートスクール			公表日		2026年 2月 27日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動用と学習用の部屋を明確に分けることで、児童が安全に過ごせる環境を整備し、活動や学習に応じた適切な支援を行える体制を確保しています。	各部屋を区分した構造としているため、人員配置を十分に考慮し、児童が安全に過ごすことのできる環境を整備しています。人員配置の状況について、安全管理体制の維持および支援の質向上に努めています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童の定員数に基づき、関係法令および指定基準に則り、必要配置基準を満たす人員体制を整備しております。	適切な人員配置基準および運用体制について、全職員に対し文書および研修等を通じて周知徹底を図っております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		学習支援を行う区画と療育・集団活動を行う区画を明確に区分し、活動内容に応じた環境整備および安全管理体制を整備しております。	学習活動と余暇・自由遊びが混在しないよう、区画の明確化および動線管理を徹底し、活動目的に応じた環境統制を強化してまいります。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		児童帰宅後に施設内の清掃および衛生管理を実施し、日常的な環境整備を通じて、清潔かつ安全な療育環境の維持を図っております。	室内環境の特性（天井高）を踏まえ、活動内容によっては屋外活動へ切り替えるなど、事故防止および安全確保に配慮した対応を行っております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティション等を活用した個別スペースを確保し、児童の特性や状態に応じてクールダウンや情緒安定が図れる環境を整備しております。	クールダウン等の個別対応時に他児の接近が見られるため、動線の確保、空間の区分、職員による見守り体制の強化を行い、個別支援が適切に実施できる環境統制を図っております。			
営	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		事業所の業務改善を目的に定期的な会議を実施し、課題の抽出・検討・改善策の策定および実施状況の確認を行う体制を整備しております。	業務の役割分担を明確にし、職員への周知を行い、業務改善に対する意識の向上と主体的な取組が継続できる体制の整備を図っております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価委員会を設置し、アンケート結果の集計・分析を実施した上で、課題の抽出、改善策の立案、実施状況の確認までを行う体制を整備しております。	改善策の全職員への周知に加え、保護者からの意見・提案を収集し、必要に応じて内容の見直しを行うことで、実効性の高い改善につなげる仕組みを整備しております。			

未 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見を業務改善に反映するため、定期的な面談および会議を実施し、意見の聴取および情報共有を行う体制を整備しております。	業務改善に必要な課題の把握および改善意識の向上を目的として、職員への周知および意識啓発を行っております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	行政書士等の外部専門家と連携し、各種加算算定要件の確認および事業運営全般に関する助言を受けることで、法令遵守および適正な請求・運営体制の確保を図っております。	行政書士等の専門職との継続的な情報共有および意見交換を通じて連携体制を構築し、支援の質の向上ならびに法令遵守に基づく適切な事業運営に努めております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内における定期的な研修の実施および外部研修への参加機会を確保し、職員の専門知識および支援技術の向上を図るとともに、研修内容の共有・周知を行う体制を整備しております。	職員の関心や専門分野に応じた研修へ参加できるように、研修機会の確保および受講体制の整備に努めております。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		月間カリキュラムを作成し、事業所だよりおよびホームページ等を通じて公表することで、保護者への情報提供および運営の透明性の確保に努めております。	児童発達支援ガイドラインに示される5領域の視点を踏まえ、個別支援計画との関連性を持たせながら、体系的なプログラムの検討および内容の充実を図っております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児童および保護者に対するアセスメント面談を実施し、課題およびニーズを把握した上で、内容を個別支援計画に反映させ、定期的な見直しを行う体制を整備しております。	アセスメントシート等を活用し、事前に保護者の意向やニーズを把握し、個別支援計画の作成および支援内容に反映する体制づくりに努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画の作成にあたり、児童の状態やニーズ、支援目標について職員間で検討を行い、協議内容を計画書に反映しております。	職員が児童の特性、課題およびニーズを踏まえ、個別性のある支援内容を検討・実施できるように、研修やケース検討等を通じて支援力の向上を図る体制を整備しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画作成後、関係職員へ内容の周知・共有を行い、計画に基づいた統一的かつ継続的な支援が実施できる体制を整備しております。	児童の学習進捗について職員間で確実に共有できるように、申し送りの徹底および情報共有体制の強化に努めております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		共通様式のアセスメントシートを用いて児童の発達状況および日々の変化を記録し、成長過程と照合しながら職員間で継続的な情報共有を行う体制を整備しております。	標準化されたアセスメントおよび記録ツールを使用するとともに、職員が統一した基準で適切に運用できるように、研修や周知を通じて理解の促進および知識の向上を図る体制を整備しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		関係ガイドラインの内容に基づき支援内容の検討を行うとともに、定期的なモニタリングにより児童の状態や支援効果を評価し、その結果を個別支援計画の見直しおよび支援内容の設定に反映する体制を整備しております。	家族の意向および本人の発達段階・課題を総合的に評価し、将来的に必要な支援課題を見据えた中長期的視点を取り入れながら、個別支援計画の作成および見直しを行う体制を整備しております。

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月間カリキュラムの作成にあたり、職員間で協議を実施し、児童の特性、発達状況および支援目標を踏まえた内容となるよう検討・作成する体制を整備しております。	児童の発達段階、特性および課題を総合的に評価した上で、個別支援計画に基づく適切な支援方法を検討し、個別性を確保した支援の実施体制を整備しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節行事について内容が固定化しないよう検討を重ね、多様な活動を取り入れたカリキュラムの立案・実施を行っております。	児童および保護者の意向やニーズを把握し、その内容を踏まえたカリキュラムの検討・作成に努めております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の発達段階、特性および理解度を踏まえ、個別支援計画に基づいた適切な声掛けや関わり方、支援方法を検討し、個別性を重視した支援の実施体制を整備しております。	児童の特性、発達状況および支援ニーズを踏まえ、個別支援計画との関連性を持たせながら、必要な支援内容に基づいたカリキュラムの検討・作成を行う体制を整備しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		他事業所の職員との情報共有および協議の機会を確保し、支援内容や児童の状況を踏まえた連携体制のもと、カリキュラムの検討・作成を行う体制を整備しております。	課題実施時に想定されるリスクやアクシデントについて事前に検討を行い、職員間で情報共有を図ることで事故防止に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		連絡帳の記入に際し、当日のカリキュラムおよび支援内容を振り返り、児童の様子や支援過程における気づき・変化を記載することで、保護者との情報共有および支援の透明性の確保を図っております。	日々の支援記録や児童の変化を職員間で共有し、その内容を踏まえて、一人ひとりの発達段階や特性に応じた適切なカリキュラムの検討・作成を行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日連絡帳に活動内容や児童の様子、支援の経過等を記録し、保護者との情報共有を図るとともに、継続的な支援に活かせるよう適切に保存・管理しています。	日々の記録を基に気になった点について、職員間で口頭の共有にとどまらず、議論や協議を行う場を設け、支援内容や対応策の統一を図っております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを通じて児童の発達状況や支援効果を評価し、その結果を反映させた個別支援計画の作成・見直しを行う体制を整備しております。	定期的な作成期限にとどまらず、児童の発達状況や支援ニーズに応じて、必要に応じて個別支援計画を作成・見直すことができる体制の構築に努めております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		児童発達支援ガイドラインに示される指標に沿って、児童の発達状況や課題を踏まえた個別支援計画の作成・見直しを行う体制を整備しております。	職員がガイドラインの内容を十分に理解し共有できるよう、情報提供や確認の機会を設け、支援方針や個別支援計画への適切な反映が行える体制を整備しております。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		カリキュラムに選択課題を取り入れ、児童が自らの意思や希望を表現できる機会を体系的に設けることで、主体性を尊重した支援の提供に努めております。	児童が自らの考えや意思を適切に表現できる課題を組み込むなど、主体性や自己表現を重視したカリキュラムの検討・作成を行い、個別支援計画との連動を図る体制を整備しております。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議の前に、参加者に対して関連情報を整理・共有し、議題や支援方針について十分に理解したうえで会議に参加する体制を整備しております。	会議での情報共有に限らず、日常的に児童の状況や支援経過に関する情報を職員間で適切に共有する体制を整備し、支援の一貫性および質の向上を図っております。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校や周辺施設の関係者と連携し、児童の状況や支援内容について情報を共有することで、適切な支援を提供しております。	送迎時においても、児童の状況や支援経過に関する情報を職員間で体系的に共有する体制を整備し、支援の連続性の確保および支援の質の向上を図る仕組みを整えております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者を通じて学校のスケジュールを確認するとともに、送迎時の引き渡しに際して児童の状況や支援経過に関する情報を職員間で適切に共有する体制を整備し、支援の連続性および質の向上を図っております。	職員間で情報共有を円滑に行い、協力体制を整備することで、支援の一貫性および質の向上に努めております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談員からの情報収集を適切に行い、就学前の児童の生活状況や発達の様子を確認した上で、個別支援計画やカリキュラム作成に反映できる体制を整備しております。	相談員に加え、幼稚園や関係機関からの情報提供・共有が円滑に行える体制を整備し、児童の状況把握や個別支援計画作成に適切に反映できる環境を構築しております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	相談員に児童の状況や支援経過に関する情報を適切に共有し、必要に応じた対応が行える体制を整備しております。	児童の状態や支援の経過に関する情報を相談員等を交えて体系的に共有できる体制を整備し、個別支援計画やカリキュラムへの適切な反映を図ることで、支援の一貫性および質の向上を推進しております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		スーパーバイザーである山内先生より、助言や研修を受けることで、職員の知識・技能の向上および支援の質の確保に努めております。	職員からの疑問や相談に対して、スーパーバイザー等から適切な助言を受けられる体制を整備し、職員の専門性向上および支援の質の維持・向上を図っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	他の施設の児童と関わる機会の創出について、計画段階から検討を行い、安全面や支援内容を考慮した上で実施できる体制の整備を進めております。	学校や他施設の児童と関わる機会を体系的に設けることを検討し、安全面や支援内容を考慮した上で実施できる体制を整備しております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		研修等の機会を活用し、職員が専門知識や技能を向上させることができる体制を整備し、支援の質の維持・向上に努めております。	職員向けに限らず、保護者様向け研修等が実施される場合には、保護者様への情報提供を行い、児童支援に活かせるよう努めております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳の記入や送迎時に、児童の状況や支援経過に関する情報を職員間で適切に共有する体制を整備し、支援の連続性および質の向上を図っております。	モニタリングを通じて得られた児童の状況や支援経過に関する情報を職員間で共有できる場を整備し、個別支援計画やカリキュラムに反映していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		スーパーバイザーである山内先生による保護者向け研修を年1回実施し、保護者への情報提供体制の整備および支援理解の向上に資する取り組みとして運営しております。	ご家族向けに家族支援の場を設けることを検討し、児童への支援の一貫性および家庭との連携強化に資する体制を構築してまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		初回契約時に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について適切に説明を行い、利用者・保護者が内容を十分に理解できる体制を整備しております。	保護者様からの意見・要望に対して、その都度適切に対応できる体制を整備し、支援内容や運営方法の改善に反映できる仕組みを構築しております。

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画書の作成に際しては、保護者の意見や今後必要となる課題を反映し、作成後には計画内容について丁寧に説明のうえ、保護者の同意署名をいただく体制を整備しております。	計画書説明時に保護者からの疑問・質問に適切に受け答えできる体制を整えるため、研修等を通じて職員の専門知識向上を図り、説明内容の正確性と保護者理解の確保に努めております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書の内容を送迎時に保護者へ説明し、内容の理解を確認した上で同意署名をいただく体制を整備しております。	送迎担当スタッフが個別支援計画書の内容を正確かつ適切に保護者へ伝えられるよう、スタッフの理解を体系的に深め、説明体制の整備を行っております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡帳やLINE、面談などを活用し、保護者からの相談に適切に対応することで、児童支援や家庭との連携の向上に努めております。	保護者からの相談に対応できる体制を整えるため、職員の基礎知識向上を目的とした研修を行い、支援の質の確保に努めております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者が交流できる場を計画・提供できる体制を整えるため、スーパーバイザーである山内先生による研修を実施し、保護者支援体制の充実および家庭間連携強化に資する取り組みとして運営しております。	研修以外の機会においても、保護者同士が交流できる場を計画・提供することを検討し、保護者支援体制の充実および家庭間連携強化に資する取り組みとして整備しております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応に関して、専任の委員会を設置し、苦情内容の確認・検討・対応の手順を明確化した体制を整備することで、迅速かつ適切な対応を行える仕組みを構築しております。	苦情に対して適切に対応できる体制を整えるため、研修等を実施し、職員の対応力向上を図ることで、苦情対応の迅速化および適正化に努めております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		イベントや外出に関する情報をHPやInstagramに掲載し、利用者・保護者への情報提供の仕組みを整備するとともに、事業所運営の透明性確保に努めております。	Instagramの更新時には、連絡帳や紙面を通じて保護者に確実に情報が伝わるよう体制を整備し、情報提供の一貫性および透明性の確保していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が含まれる媒体については、事務所内での使用に限定するなど、適切な管理体制を整備し、情報漏洩防止および個人情報保護の徹底に努めております。	研修等を通じて、職員が個人情報保護に関する専門知識を体系的に習得できる体制を整備し、情報管理の徹底および利用者の権利保護に努めております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		イラストやサイン等のノンバーバルコミュニケーションを活用し、児童の意思伝達能力向上を目的とした練習を体系的に実施し、個々の発達段階に応じた支援の充実を図っております。	児童が自己の意思を選択できる体制を整えるため、個々の特性や発達段階に応じた多様な意思伝達手段の検討・導入を行い、意思決定支援の充実を図っております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		児童が主体的に参加できるイベント等を取り入れたカリキュラムの立案を行い、個々の発達段階や特性に応じた活動機会の提供および支援の充実を図っております。	参加型イベントを円滑に実施できる体制を整えるため、地域との信頼関係構築および連携強化に努め、地域資源を活用した児童支援の充実を図っております。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		業務マニュアルを作成し、事務所内で適切に保管・管理するとともに、職員および保護者様が必要に応じて参照できる体制を整備することで、業務の標準化および質の向上を図っております。	保護者様が必要な情報を適切に確認できるよう、事務所内で閲覧できる体制を整備し、情報提供の透明性および利用者理解の向上に努めております。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害時や感染症発生時など、様々な状況に対応できるよう、BCPに基づく訓練・研修を計画的に実施し、職員の対応力向上と事業継続体制の整備・強化に努めております。	事業再開に際し、スムーズかつ安全に対応できる体制を整えるため、研修を実施して職員の理解・対応力を高め、事業継続および支援の質向上に努めております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アレルギー等の健康情報が把握された場合、職員間で確実に情報共有を行い、適切な対応を実施できる体制を整備するとともに、安全な支援の提供に努めております。	職員が適切かつ安全に対応できるよう、研修の実施および資料提供を体系的に行い、必要な知識と手順の習得を徹底することで、児童の安全確保および支援体制の整備を図っております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		安全計画を作成・事務所内で適切に保管するとともに、計画に基づいた研修・訓練を体系的に実施し、職員の緊急時対応力向上および事業所内の安全管理体制の充実を図っております。	アレルギー情報を職員間で確実に共有する体制を整備し、児童の安全確保および適切な支援提供に努めております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、事務所内で適切に保管するとともに、計画に基づく研修・訓練を体系的に実施し、職員の緊急時対応力向上および事業所内の安全管理体制の充実を図っております。	研修や訓練に加え、備蓄品の管理・点検を体系的に実施し、緊急時に迅速かつ確実に対応できる体制を整備することで、事業所内の安全管理および事業継続体制の充実を図っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		作成したマニュアルを事務所内で適切に保管するとともに、保護者様から希望があった場合には、情報を迅速かつ適切に提示できる体制を整備し、透明性のある運営に努めております。	避難訓練等の実施状況を記録・把握し、送迎時などを通じて保護者様に適切に伝達する体制を整備し、児童の安全確保および保護者との情報共有の充実を努めております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事例を職員間で体系的に共有し、再発防止策の策定・実施を徹底することで、児童の安全管理体制の充実を図っております。	ヒヤリハットへの適切な対応について、職員が個々に判断・行動できる体制を整備し、研修等を通じて必要な知識・技能を習得させることで、児童の安全管理および再発防止体制の強化を図っております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修を計画的に実施し、職員が必要な知識と対応力を習得できる体制を整備することで、児童の安全確保および適切な支援の提供に努めております。	虐待防止に関する研修を計画的に実施するとともに、職員が児童への適切な対応や安全確保に必要な基礎知識を習得できる研修体制を整備し、職員の対応力向上および支援の質向上に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		当施設では、原則として身体拘束を行わず、児童の安全確保と人権尊重を最優先にした支援体制を整備しております。	身体拘束がやむを得ず必要となる状況に備え、職員が適切かつ安全に対応できるよう研修を実施し、支援体制の整備に努めております。